

(報道発表資料)

**NTT ドコモ・グローバル、アクセンチュアおよび AWS との連携強化により、  
AI 駆動開発を支えるトラスト基盤の拡張をめざす  
～Universal Wallet Infrastructure を活用し、エージェント型 AI 時代における  
ガバナンスを強化～**

2026.5.28

株式会社 NTT ドコモ・グローバル

株式会社 NTT ドコモ・グローバル（代表取締役社長：栗山 浩樹、本社：東京都千代田区、以下 NTT ドコモ・グローバル）は、アクセンチュア株式会社（以下 アクセンチュア）およびアマゾン ウェブ サービス（以下 AWS）とともに、Universal Wallet Infrastructure（ユニバーサル ウォレット インフラストラクチャー、以下 UWI）をさらに発展させ、ソフトウェア開発を中心とした AI によるアクションに対し、検証、統制、監査を支えるトラストアーキテクチャの高度化を推進します（以下 本取り組み）。将来的には幅広い業務プロセスへの展開も視野に入れ、グローバル企業がエージェント型 AI を安心して活用できる環境の実現をめざすものです。

本取り組みは、NTT ドコモ・グローバルとアクセンチュアがこれまで展開してきた UWI を基盤としています。UWI は、企業・組織がデジタル ID、証明書、デジタル資産などを安全に発行・検証・管理できるエンタープライズ向けのデジタルトラスト基盤です。単一のアプリケーションや閉じたプラットフォームではなく、複数のアプリケーション、ウォレット、サービス間を横断して連携可能な共通基盤として機能します。すでに企業環境での実運用が進んでおり、今後はソフトウェア開発や業務ワークフローにおいて自律的に動作する AI エージェントの活用拡大に伴い生じる新たな信頼課題への対応を加速し、AI 駆動開発におけるガバナンス強化を支援します。

#### ■エージェント型 AI 時代における信頼とガバナンス

AI が検証段階から実運用へと移行する中で、企業・組織は新たな信頼課題に直面しています。特に、本人確認（検証）、権限・資格情報の管理（統制）、コンプライアンス対応（監査）が求められる業界では、その重要性が一層高まっています。AI エージェントは、ソフトウェア開発の過程においてコード生成や修正を担うようになり、開発効率を大きく向上させる一方で、新たなリスクも生み出しています。特に、こうした AI エージェントが複数システムを跨いで継続的に動作する環境では、従来のセキュリティやソフトウェアサプライチェーン管理の仕組みだけでは十分に対応できません。

企業・組織は「どの AI が」「どの権限のもとで」「どのデータに基づいて」行動したのかを把握し、AI によるアクションを検証・統制・監査できる仕組みが求められています。そのためには、個別ツールを組み合わせるのではなく、エージェント型 AI 時代に対応した統合的なトラストアーキテクチャが必要となります。

UWI は、デジタル ID および証明書を管理するためのセキュアかつ相互運用可能な基盤を提供し、本人確認、証明書の発行・検証、ポリシーベースのアクセス制御を可能にします。本取り組みによって、この基盤を AI 活用環境へ拡張し、開発および運用ワークフローへ直接組み込むことで、AI によるアクションの透明性と追跡可能性を高め、ガバナンス強化の実現をめざします。

### ■ AI 駆動開発の実用化を支える 3 社連携

本取り組みでは、それぞれの強みを持つ 3 社が連携し、企業・組織が実証（PoC）段階を超えて本番環境で AI を活用できる体制の構築をめざします。

- NTT ドコモ・グローバル  
UWI をトラスト基盤として提供し、オープン標準に基づくデジタル ID および Verifiable Credentials\*1 を活用して、人・システム・AI エージェント間の認証、認可、プロビナンスを支援
- アクセンチュア  
分散型デジタル ID、デジタル資産、プロダクトエンジニアリング、デジタル変革における専門性に加え、UWI の構築・展開における戦略立案、業界知見、技術力、実行力を提供
- AWS  
AI 駆動開発を安心して構築、拡張、運用できるクラウド、AI サービスを提供。自律的な開発プロセスを実現するエージェント型 AI に加え、エンタープライズレベルのセキュリティ、スケールビリティ、グローバルな可用性でお客さまを支援

3 社は、エージェント型 AI の導入には高度な AI 開発環境だけでなく、実運用に耐えうるトラストおよびガバナンス基盤が不可欠であるという共通認識のもと連携しています。市場展開を加速するため、ソリューション展示、顧客向けワークショップ、教育プログラムなど、市場展開に向けた統合的な活動も推進します。こうした取り組みを通じ、AI 駆動開発を支えるプラットフォームサービスとして UWI を提供していきます。

### ■ 技術的マイルストーン：トラストアーキテクチャに関する共同ホワイトペーパー

本取り組みの初期成果として、3 社は以下のホワイトペーパーを共同執筆しました。

#### Agentic Trust Layer : AI エージェント時代のトラスト基盤を構築する

#### ～Verifiable Credential とエージェント型 AI によるソフトウェアサプライチェーンガバナンス～

本ホワイトペーパーでは、AI 駆動開発において UWI が担うトラスト基盤のアーキテクチャパターンについて解説しています。Software Bill of Materials (SBOM) \*2 や AI-SBOM、Verifiable Credential、エージェントアイデンティティといった仕組みを開発ワークフローへ組み込み、AI 生成コードのプロビナンス、検証、監査を実現する方法を示しています。また、Amazon Bedrock AgentCore 上に構築された AI エージェント実行環境についても解説し、AI 活用後にガバナンスを追加するのではなく、設計段階から信頼性や監査性を組み込むためのアーキテクチャパターンについても提示しています。

本ホワイトペーパーでは、既存の UWI 導入実績をもとに、AI 駆動開発やエージェント型 AI の活用拡大に対応したトラスト基盤の設計アプローチやリファレンスアーキテクチャを整理しています。

## ■経営陣コメント

### NTT ドコモ・グローバル 代表取締役社長 栗山浩樹

私たちは、AI が次の成長段階へ進むうえで、人々、企業、そして社会が、インテリジェントなシステムの振る舞いや相互作用を信頼できることが不可欠になると考えています。エージェント型 AI が組織、サービス、さらには国境を越えて広がる中で、「信頼」はこの新たなデジタル社会を支える共通インフラの中核的な要素となる必要があります。UWI は、AI 時代に向けて、こうしたトラスト基盤を構築するための NTT ドコモ・グローバルのアプローチを示すものです。

UWI に、アクセントゥアの戦略・エンジニアリング力、そしてエンタープライズワークフローを支える AWS のスケール可能な AI・クラウドサービスを組み合わせることで、私たちは、人、企業、データ、そしてインテリジェントなシステムの間、信頼あるつながりを生み出していくことをめざします。本取り組みを通じて、UWI を、AI エージェントの時代における AI の安全かつ広範な導入を支えるグローバルなトラスト基盤へと発展させ、私たちのグループパーパスである「Bridging Worlds for Wonder and Happiness」の実現につなげていきます。

### アクセントゥア AWS ビジネスグループ統括 ジェニファー・ジャクソン (Jennifer Jackson)

AI が企業の変革と成長を支える基盤となるなか、「信頼」は全社的な活用の成否を左右します。アクセントゥアは、分散型デジタル ID、デジタル資産、プロダクトエンジニアリングに関する高度な専門性を生かし、NTT ドコモ・グローバルとともに、その信頼を支える UWI の構築に初期段階から取り組んできました。このたび、当社の長年のパートナーである AWS とさらなる連携の強化を図ることによって、アクセントゥアは、NTT ドコモ・グローバルのビジョン、当社のエンドツーエンドの実行力、そして AWS との深いパートナーシップを結集し、一社単独では実現できない価値の創出を支援していきます。

### AWS グローバルセールス アジア太平洋・日本・中国担当 バイスプレジデント 兼 マネージングディレクター ハイミ・バレス (Jaime Vallés)

世界中のお客さまが、エージェント型 AI で業務やサービス提供を迅速に変革しようとしています。その実現には、最初からトラストとガバナンスが組み込まれていなければなりません。NTT ドコモ・グローバルおよびアクセントゥアとの連携は、まさにそれを可能にします。両社の深い専門知識と、AWS の AI・クラウドサービスが提供するセキュリティ、信頼性、選択肢、拡張性を組み合わせることで、実験から社会実装に向けた展開を加速するトラスト基盤を提供します。両社との長年にわたる関係は、信頼できるパートナー、イノベーションの文化、そして適切なテクノロジーの融合が、お客さまに真の変革と大規模なビジネスインパクトをもたらすことを示しています。

## ■ホワイトペーパー入手方法

Agentic Trust Layer : AI エージェント時代のトラスト基盤を構築する

～Verifiable Credential とエージェント型 AI によるソフトウェアサプライチェーンガバナンス～

[URL] [https://www.docomoglobalgr.com/pdf/whitepaper\\_uwi\\_agentic\\_trust\\_layer\\_j.pdf](https://www.docomoglobalgr.com/pdf/whitepaper_uwi_agentic_trust_layer_j.pdf)

\*1 Verifiable Credentials : オンライン上で本人情報や資格情報などの真正性を証明できるデジタル証明書。オープン標準に基づき、改ざん有無を第三者が検証可能。

\*2 Software Bill of Materials (SBOM) : ソフトウェアの構成要素を体系的に一覧化した情報。ソフトウェアの透明性向上やセキュリティ管理、サプライチェーン管理に活用される。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先
株式会社 NTT ドコモ・グローバル コーポレート部門 広報担当
ndg_info@ml.nttdocomo.com